

## 第 15 回供用適性評価規格委員会

### 議事録

1. 日時：平成 21 年 7 月 24 日（金） 14:00～17:00
2. 場所：高圧ガス保安協会第 4・5 会議室  
（東京都港区虎ノ門4-3-13神谷町セントラルプレイス）
3. 出席者（敬称略・順不同）：  
委員：鴻巣（委員長）、小川（副委員長）、酒井（潤）、倉田、渡辺、和仁（川村委員代理）、佐藤（信）、山本、阪野、島川、米山（小澤委員代理）、佐藤（拓）、中条、宇都宮 以上 14 名  
オブザーバ：石連石化協FFS基準委員会 / 田原（石連）  
佐藤（発電技検）、野島（JNES）、鳥海（産業と保安ジャーナル）  
石連・石化協・KHK共同事務局：稲葉（新日本石油）、児島（コスモエンジ）、大ヶ生（出光興産）、亀畑（Jエナジー）、黒巢（住友化学）、松岡（三菱化学）、山本（東亜石油）  
KHK / 荒井、川原、松木、詫間、磯村、松本（一）、長沼、小山田（記）、木村
4. 配布資料：

資料 107	前回議事録（案）
資料 108	委員コメント及び対応案
資料 109	パブリックコメント結果及び対応案
資料 110	パブリックコメント済議案の修正案リスト
参考資料	補足資料（資料 108）
参考資料	第 8 回供用適性評価規格委員会資料 5.5 抜粋
参考資料	供用適性評価基準（案）図表出典リスト
参考資料	今後のスケジュール
5. 議事
  - 5.1 議題の確認  
配布された議事次第により議題の確認を行った。
  - 5.2 議題 1) 前回議事録案の承認

事務局より既に各委員にEメールにより送付のあった議事録案について説明があり、資料107を正式な議事録とすることについて挙手による採決を行い、満場一致で可決された。

### 5.3 議題2)パブリックコメントの結果及び対応について

#### 1)パブリックコメント実施期間中の本規格委員会委員コメント

事務局より資料108及び参考資料 を用いて供用適性評価基準(案)のパブリックコメント実施中の本規格委員会委員コメントとその対応案及び対応に伴う資料110修正案について説明があり、以下のような議論があった。

- ・ 資料110附属書4-25ページでは、硬さの単位が混ざって表記されている部分があるが、参考文献に合わせて表記すべきであるというコメントがあり、事務局が確認し参考文献に合わせることにした。
- ・ 硬さの単位の表記方法が現在の JIS 規格のルールと異なっているので見直すべきであるというコメントがあり、事務局が確認して修正することにした。
- ・ 資料110附属書4-19ページの塩化物応力腐食割れの対策としてオーステナイト系ステンレス鋼にSiの添加があると記載されていることについて、どんな試験をして確認されているのか、これを記載する必要があるのか、といったコメントがあり、議論の結果、削除することにした。

#### 2)寄せられたパブリックコメントとその対応策について

事務局より、資料109及び参考資料 を用いて供用適性評価基準(案)に関し寄せられたパブリックコメントとその対応案及び基準案の修正案、並びに事務局気付き事項による基準案の修正案について資料110修正案を用いて説明があり、以下のような議論があった。

- ・ コメント#17について、「評価対象である設備の使用者」は FFS 組織の長に限らず製造許可を受けている事業者であるという意図ではあるが、この表現は誤解を生じるのではないかというコメントがあり、第7章との整合を図り「この基準を適用する事業者」に修正することにした。
- ・ コメント#21の対応策について、今後の検討に委ねるとなっているが、今回附属書10に本文のPw限界値どおりのHATチャートを示しており、これを利用することは可能であることを記載すべきであるというコメントがあり、修正することとした。
- ・ コメント#20の2.に関する対応策について、技術的に分かり易くするべきではないかというコメントがあり、ネルソン線図の0.5Mo鋼線限界線との比較は組織検査を行わない場合に相当すること、この場合 M23C6=100%の時の値である4.95を採用していることから指摘されているような問題はないこと、を記載するよう修正することとした。

3) 参考文献の記載について

事務局より参考資料 について説明があり、基準案中の参考文献の記載に関する修正については事務局により行うこととした。

以上のような説明・議論の後、本日会議の場で修正を行った部分を含めた資料109についてパブリックコメントへの対応として意見提出者に連絡すること及び寄せられた意見とその対応を公表することについて採決があり、満場一致で可決された。続いて、本日の会議の場で修正した箇所及び事務局による参考文献の記載を含め、委員コメント、パブリックコメント及び事務局気付き事項への対応として、資料110に示すとおりパブリックコメントに付した基準案への編集上の修正を行うことについての採決があり、満場一致で可決された。なお、事務局は基準発行に向けて必要な手続きを行い、発行時には委員会に報告することとした。

6. その他

事務局より今後のスケジュールについて参考資料 を用いて説明があった。これを踏まえて次回の委員会については、平成21年10月27日(火)午後に行うこととした。

以上